

第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会シンポジウム 7（臨床/社会）

HIV 感染血友病患者の長期療養 ～医療と生活の充実をめざして～

日時：2015 年 **12** 月 **1** 日（火） 会場：**東京ドームホテル**
16:20～17:50 **B1F シンシアサウス**
第 5 会場

●座長

瀧永博之（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

横幕能行（名古屋医療センター エイズ治療開発センター）

●挨拶

中谷祐貴子（厚生労働省健康局結核感染症課エイ対策推進室）

●コメンテーター

大平勝美（社会福祉法人はばたき福祉事業団）

●注目しよう！HIV 感染血友病等患者の病態と治療

瀧永博之（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

HIV 感染血友病等患者は、血友病、C 型肝炎、重篤な免疫不全状態の後遺症、などが複雑に絡み合い、病態は複雑さを呈しています。これらの多岐にわたる病態と治療を紹介します。

●はじめよう！HIV 感染血友病等患者の医療と福祉の連携

大金美和（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

救済医療の活用とともに、病院と地域スタッフによる医療と福祉が連携した具体的な支援プロトコルを検討したので報告します。

●取り組もう！HIV 感染血友病等患者の療養支援の可能性

椎名恵美子（訪問看護ステーションみけ）

長期療養支援の試みとして、HIV 感染血友病等患者の生活困難および病状悪化を事前に回避するために開始した健康訪問相談事業を紹介します。

●実行しよう！HIV 感染血友病患者等の長期療養支援～QOL 向上と予防的医療福祉～

柿沼章子（社会福祉法人はばたき福祉事業団）

健康訪問相談を実施して 2 年近くが経過しました。この中で分かってきたメリットとデメリットを紹介し、予防的医療福祉について考えていきます。